



## 第1回中央港湾団交開催！！

2025年2月12日、港湾産別春闘がスタートした。同日、14:45より芝浦サービスセンターで開催された第1回中央港湾団交は、業側より、久保労働経営委員長長の諸事情による欠席が伝えられ、若野労働経営副委員長が業側を代表し挨拶を行った。

組合側は、まず、要求書の提出を行い、竹内全国港湾委員長より、挨拶と共に25春闘に関する労側の考え方について披瀝された。(要求書参照)

**賃上げ10%以上、30,000円以上は当たり前の要求である。**

竹内委員長は以下の考え方を披瀝した。

- \* 賃上げ10%以上、30,000円以上は当たり前の要求であり、満額回答を目指す。
- \* 料金に関して、下払いもさることながら、内航フィーダー料金の引き上げによって、地方港の仲間と事業者を守る。そのためにも荷主への突き上げが必要だ。
- \* 労働時間の短縮や職場環境にも力を注ぐ。
- \* 定年延長は過去4回の協定があり、2025年度には履行されてなければならない。
- \* 指定事業体の協定履行による解決。
- \* 関連事業者の事前協議制度への位置付け。

**これらの解決が魅力ある港湾労働の確立であり、  
人員不足対策の柱となる。**

続いて、玉田書記長より、要求趣旨説明が行われ、日港協として大きな決断を行うべきだと、組合員の声を届けた。(趣旨説明参照)

業側は、要求は多岐にわたるが、できうる限りの回答ができるように検討を行うとしたうえで、次回団交を3月11日(火)13:30~の提案を行った。

組合側は、これを了承し、第1回中央港湾団交を終えた。

以 上

<添付資料>

2025年要求書、要求趣旨説明